

「FGF-23」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、研究検査として受託しております下記項目を、FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症の診断時または腫瘍性もしくは薬剤性骨軟化症の場合の治療効果判定を対象として実施料が適用されたCLEIA法試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- [27053] FGF-23

変更期日

- 令和2年1月4日(土) 受付日分より

※本案内以降、先行して変更を希望される場合、順次ご依頼いただけます。

詳細につきましては、INFORMATION：19-44をご参照下さい。



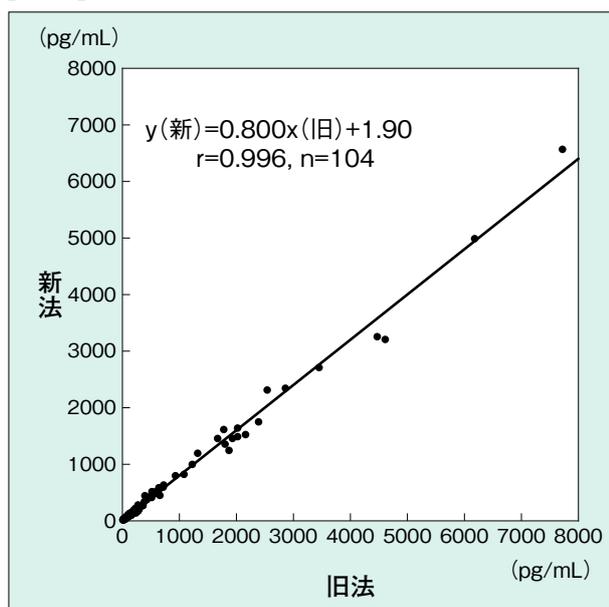
FGF23 の検査要項

変更内容	新	旧
項目コード	27690	27053
検査項目名	FGF23《CLEIA》	FGF-23
検査方法	CLEIA	EIA
検体量／保存方法	血清 0.5mL ^{*1,2} / 凍結 [容器番号：01番→02番]	血清 0.3mL / 同左
基準値	30 pg/mL 未満 ^{*3} (FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症のカットオフ値) ※健常者参考値：19.9～52.9 pg/mL	(健常者参考値) 22.9～67.0 pg/mL
報告下限	5.0 pg/mL 未満	10.0 pg/mL 未満
報告上限	100,000 pg/mL 以上	9,990,000 pg/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁	同左
所要日数	3～5日	5～19日
検査実施料／判断料	788点／生化学的検査（I）判断料	未保点
備考	<p>*1：ビオチンは50ng/mLまで測定値に影響を認めませんが、高用量のビオチンを投与している患者の検体では測定値に負の影響を与える可能性があります。</p> <p>*2：急速凝固管による採血は、低下傾向となりますので避けて下さい。</p> <p>*3：低リン血症を示すくる病・骨軟化症において、測定値が30pg/mL以上の場合はFGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症が疑われます。 (くる病・骨軟化症の診断マニュアルより)</p>	

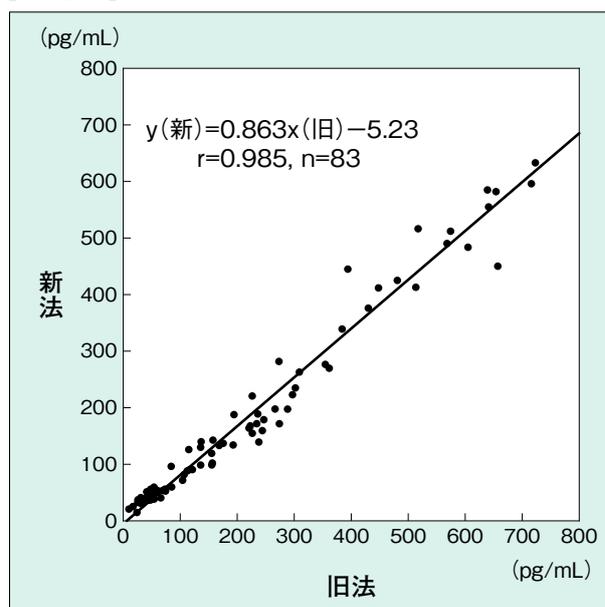
※詳細につきましては、INFORMATION：19-44をご参照下さい。

新旧二法の相関

[全域]



[低値域]



(社内検討データ)

参考文献

古家美菜絵：整形・災害外科 60 (13)：1599-1608, 2017.